

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 美作市		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒707-8501 岡山県美作市栄町38-2	
本票作成	部署名：市民部 暮らし安全課				
主たる業種	分類コード	98	業種名：地方公務		
事業の概要	地方公共団体として、全ての住民が安心して暮らせる環境づくりや、地域が活性化する事業等を行っている。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	美作クリーンセンター		美作市杉原340	
	②	大原病院		美作市古町1771-9	
	③	美作浄化センター		美作市湯郷932	
	④	大芦高原温泉雲海		美作市上山1735	
	⑤	美作浄水場		美作市檜原下160-1	
⑥	作東バレンタインホテル		美作市江見993		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 208 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 28 年度)	(平成 30)年度排出量	目標年度(令和 元 年度)
	23,194 t CO ₂	19,332 t CO ₂	22,498 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 30)年度排出量
	①	美作クリーンセンター	5,437 t CO ₂
	②	大原病院	1,227 t CO ₂
	③	美作浄化センター	950 t CO ₂
	④	大芦高原温泉雲海	788 t CO ₂
	⑤	美作浄水場	663 t CO ₂
⑥	作東バレンタインホテル	477 t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間：平成 29 年度 ～ 令和 元 年度 (3 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(30)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	16.7 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(30)年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

平成30年度的美作市全体の総排出量は、前年度と比較して約21%減となっている。施設全体での排出量は約22%減、公用車については約15%増となっている。この結果は、施設全体で一番大きな割合を占める美作クリーンセンターの排出量が、前年度と比較して約42%減となっていることが大きな要因となっている。これは、ごみの焼却量は前年度とほぼ同じであったが、焼却ごみ中の廃プラスチック類の比率が、前年度の約44%から約24%に低減していることから、二酸化炭素排出量が大幅に減ったと考えられる。また、排出量の約6割を占める電気使用について、使用量は昨年度から約2%増えているが、環境負荷の少ない小売電気事業者との契約を行うことにより、排出量は約15%減となっている。

【推進体制】

温室効果ガス排出量の削減に向けて、市職員の主体的な取り組みに加え、組織的な計画推進や目標達成状況の管理が求められることから、市長をトップとした組織体制を整備し、「美作市温暖化対策推進本部」のもとに継続的な実行計画の評価、改善を行う。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
	<p>(平成30年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼休みの消灯、トイレなど利用者がいない場所の消灯 ・低公害車を中心とした環境負荷の少ない公用車の購入・更新 ・クールビズ、ウォームビズの推進 ・毎年2回のノーマイカーデーの実施 ・事務用品は詰め替えやリサイクル可能な消耗品を購入する ・物品の再利用や修理による長期利用に努める ・廃棄物の分別の徹底に努め、ごみの減量化を図る <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の更新、改修を行う場合は、現状より高効率な機器に更新する。また関連計画等と整合を取りながら、計画的に改修、更新を図る ・電気製品等の物品の購入、リースレンタルを行う場合、省エネルギータイプで環境負荷の少ないものの購入に努める ・公用車は、燃費の良い車種や低公害車を優先的に採用するとともに、運転者エコドライブに努める ・職員への地球温暖化対策に係る情報の提供を行うとともに、研修を実施し意識啓発を図る

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	企業との挙動森づくり事業：美作市が所有する森林を森林保全活動に取り組もうとする企業に提供し、森林の育成活動に努める事業。現在、3社の企業と協定を結び、美作市上山にある市有林を提供し森林保全活動に取り組んでいる。
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	みまさかアリーナ、勝田総合支所に太陽光発電を導入し、また勝田、大原、東粟倉総合支所内に薪ストーブを設置し、自立災害拠点としての能力向上及び再生可能エネルギーの導入による温室効果ガスの低減を目指している。
その他	無	

【その他特記事項】

--